

＜対策のポイント＞

病害虫の薬剤抵抗性の発達や、気候変動等の影響による病害虫の発生パターンの変化、農薬登録の見直し等による使用可能な農薬の減少等により、**防除が困難となっている作物**に対する**緊急的な防除体系の確立**を支援します。

＜事業目標＞

病害虫の薬剤抵抗性の発達や発生パターンの変化、使用可能な農薬の減少等に対応する効果的な防除体系の構築

＜事業の内容＞

1. 防除が困難となっている作物に対する緊急的な防除体系の確立

病害虫の薬剤抵抗性の発達、近年の気候変動等の影響による病害虫の発生パターンの変化、登録農薬が少ない地域特産作物（マイナー作物）における病害虫被害の発生、登録農薬の見直し等による使用可能な農薬の減少等により、従来の防除対策では**防除が困難となっている作物**について、**緊急的な防除体系の確立**に向けた代替農薬の選定、新たな防除技術の実証等を支援します。

2. 総合防除の普及のための指導者の育成

総合防除の普及のため、**指導者の育成**に必要な**研修・講習への参加、当該研修・講習の開催等**を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

防除が困難となっている作物に対する防除体系の確立

薬剤抵抗性病害虫
(例) DMI耐性リンゴ黒星病、ストロブマイシン耐性モモせん孔細菌病

- 代替農薬の選定と新たな防除体系の確立
- ローテーション散布の有効性の検証
- 薬剤感受性検定方法、効率的なモニタリング手法等の確立

近年の気候変動等の影響により発生が増加した病害虫
(例) 大雨等の影響により多発生となったタマネギベト病

- 薬剤感受性検定の実施による薬剤耐性の発達状況の把握
- 効果の高い農薬の選定と新たな防除体系の確立
- 雨の影響を受けづらい効果的な農薬の散布方法の検証

農薬登録の見直し等に伴う使用可能な農薬の減少

- 現場のニーズに対応した代替農薬の選定
- 新たな防除技術や資材の実証

